

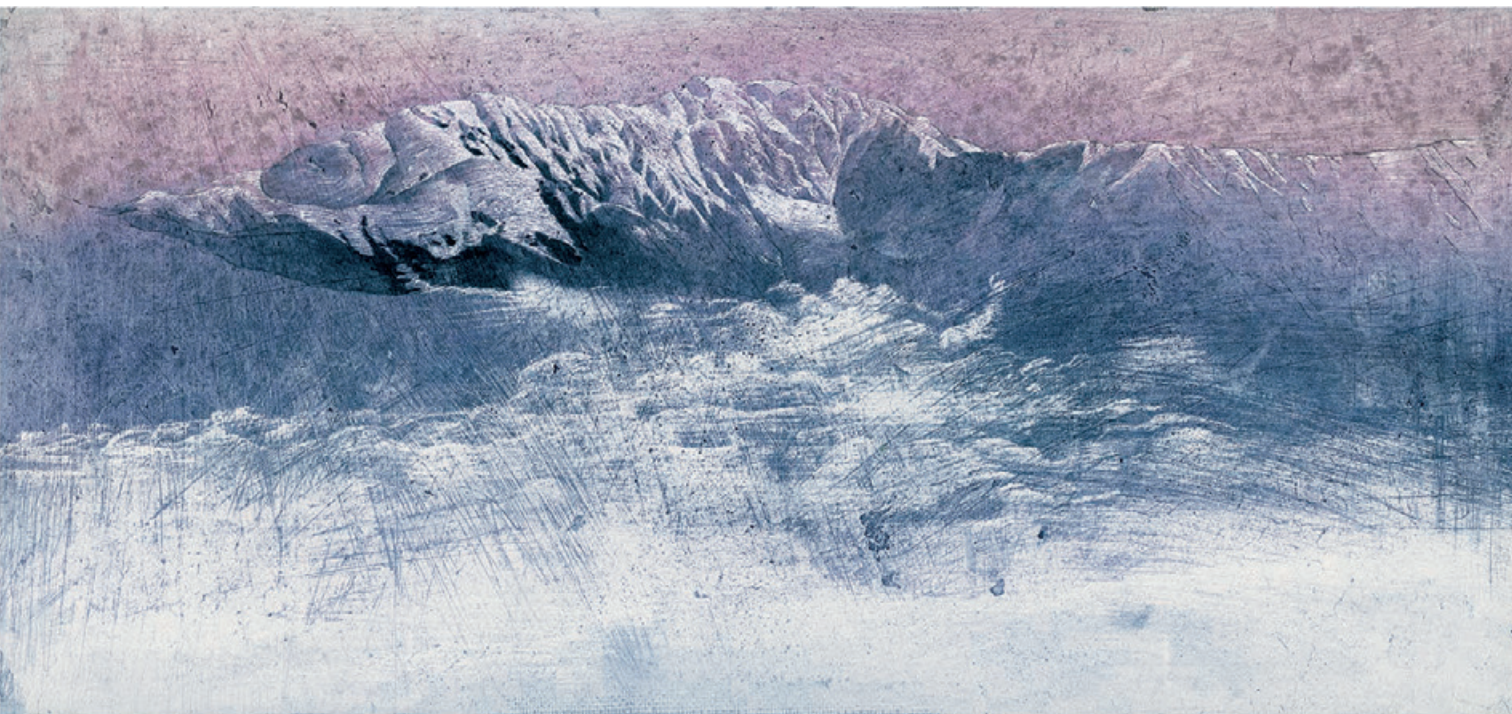


第96期 中間期 株主通信

2023年4月1日から2023年9月30日まで

KOA株式会社

証券コード：6999



2030ビジョン実現に向けたKOAの挑戦

Essential Parts of the World



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第96期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）中間期の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

「2030ビジョン（Essential Parts of the World）」において、世界を支える必要不可欠な部品メーカーとなると宣言した私たちは、当ビジョン達成のための第一段階である2024中期経営計画を、確実な成長のための基盤づくりと位置づけました。

本計画に掲げる6つの重点施策のうちの1つが、2030年に向けた供給体制の構築です。2023年度上期は前年度上期

に比して減収減益となるも、78億円の設備投資を行いました。また、脱炭素社会実現への貢献、新事業の創出、未来に向けた研究の強化を目的に、売上高比4.9%の研究開発費を投じてまいりました。

具体的には、厚膜製品に関しては富山県の工場「となみの庄」を稼働させ、今年10月に着工したマレーシアの新工場は2025年3月の竣工を予定しています。薄膜製品に関しては、長野県伊那市「西山工場」、上田市の工場「真田の郷」で生産能力増強に向けた整備が進んでいます。

2024中期経営計画の重点施策には、KPS活動の『しんか』もあります。KPS活動は全員参加の経営改善活動であり、1980年代後半から私たちが取り組んできたKOAの文化と

2030年に向けた供給体制の構築

厚膜および薄膜チップ抵抗器

- 国内・海外工場の増産
- 生産拠点の増強
- 複数拠点化によるBCP対応

再生可能エネルギーの導入と電力使用量の削減

- 再生可能エネルギーの導入促進
- 生産性向上、最新省エネ技術導入などによる使用電力量抑制
- GHG排出データの収集・分析能力の向上
- 地域社会と連動した気候変動対策のモデルづくり

KPS活動の『しんか』

- デジタル技術を活用し、現場の知恵(暗黙知)を仕組み(形式知)に昇華
- 未来予測や潜在的な要求からお客様と共感できる製品を開発
- 経営資源を最大化し、安定供給とフレキシブルな納期対応を実現するサプライチェーンマネジメント

未来を創造する人づくり

- 組織の目的を自分ごと化し、自発的に貢献する社員を増やすための対話機会の創出
- 2030ビジョンを実現する人材育成とキャリア支援体系の構築
- 挑戦が評価されることが働きがいにつながる仕組みづくり

イノベーション・マネジメントシステム(IMS)の導入

- IMS推進部門によるイノベーション活動の支援体制構築
- 新事業・既存事業の不確実性を前提とした、価値創造プロセスの実践
- トップマネジメントによる中長期戦略の浸透

ガバナンスの新たな取り組み

- 業績連動型役員報酬制度の導入
- 独立社外取締役を1/3以上選任
- 過半数を独立社外取締役とした指名・報酬委員会の設置

※2030ビジョン、2024中期経営計画は
当社Webサイトにてご覧いただけます。
<https://www.koaglobal.com/corporate/story>



KOA株式会社

代表取締役社長

花形 忠 男



いうべき活動です。「しんか」とは進化であり深化であり、真価です。現在、デジタル技術を活用して、現場の知恵を仕組みに昇華する取り組み、未来予測や潜在的な要求からお客様と共感できる製品を開発する試み、そして安定供給とフレキシブルな納期対応を実現するサプライチェーンマネジメントの構築に努めています。

イノベーション・マネジメントシステム（IMS）の導入も2024中期経営計画の重点施策の1つです。IMSとは、イノベーションの実現を促すための国際標準規格で、仮説に基づく試行錯誤をスピーディーに行うことで、新しい価値を生み出すシステムです。当社はIMSを新たなKOAの文化とすべく、その専門部署を設けて社員の挑戦を支援しています。

今後、お客様のサプライチェーンにおける在庫調整の進展スピード等が、下期の業績動向に影響を及ぼす可能性があります。2030ビジョンを実現するための歩みを私たちは緩めません。未来のKOAのために、先を見据えた基盤づくりを覚悟して行ってまいります。

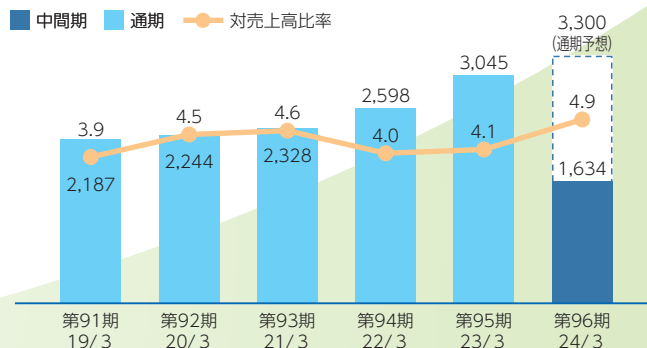
株主の皆様におかれましては、今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月



マレーシア新工場（完成予想図）

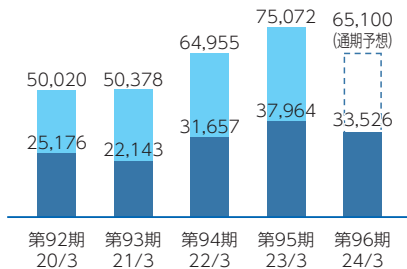
研究開発費／対売上高比率（百万円、％）



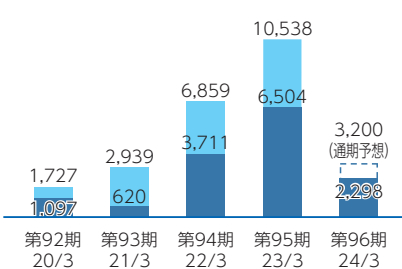
決算ハイライト

■ 中間期 ■ 通期

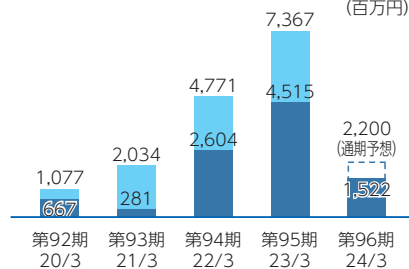
売上高 (百万円)



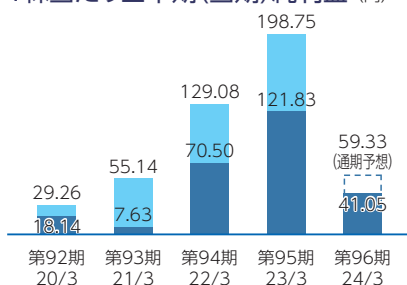
経常利益 (百万円)



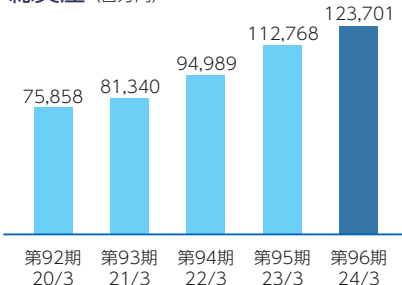
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



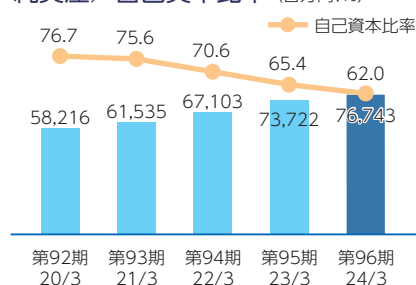
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



総資産 (百万円)

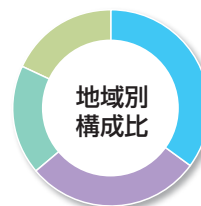
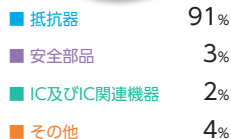


純資産／自己資本比率 (百万円、%)



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第94期の期首から適用しており、第94期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっています。

売上高構成比



財務諸表や営業の概況等の詳細は決算短信をご覧ください。

<https://www.koaglobal.com/ir/library/tanshin>



新製品・新技術紹介

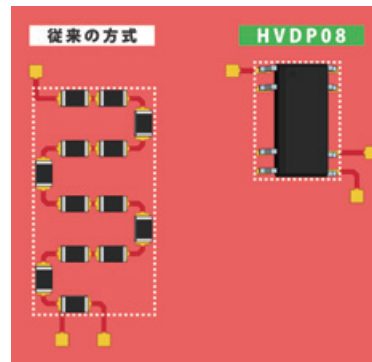
NEW!

高電圧検出用高精度分圧器 **HVDP08**



“2050年にカーボンニュートラルを実現”するための各国の方針を受け、BEV（バッテリー電気自動車）化が急速に推し進められる中、自動車メーカー各社は走行距離を延ばすためにバッテリーの高電圧化や充放電制御の最適化を進めています。そのために、バッテリーの高電圧を精度良く測定したいというニーズがありますが、従来の検出方法では、高精度なチップ抵抗器を複数個並べる必要があり、広い実装面積が必要でした。「省スペースで高電圧を長期間安定して高精度に測定したい」というお客様のニーズに応えるために、高電圧検出用高精度分圧器「HVDP08」を開発しました。

「HVDP08」を採用することにより、実装面積を約60%削減できるほか、周囲の温度変化に対しても影響を受けにくく高精度に検出できるという特長もあり、多くのお客様からお引き合いをいただいております。

153mm²58mm²

約60%削減

NEW!

Windgraphy® 気流計測システム



気流の超多点同時測定を可能にするWindgraphy®気流計測システムを、7月に発売開始しました。

風センサユニットのLEDが感知した風速に応じた色に変化し、直感的に気流の流れを理解できる“風の見える化”を実現します。最大4,500個の風センサユニットを数珠繋ぎに接続することで、大空間の気流風速分布を立体的に測定しデータ化することが可能です。

利用者が快適に過ごせるエアコンの開発、オフィス内の空調設計の確認、工場内での気流把握による製造工程の不良低減など、安心・安全・快適な空間づくりに貢献します。様々な場面での活用が期待でき、今後もお客様と新たな活用方法を共創していきます。



展示会でのデモンストレーション

* WindgraphyはKOA株式会社の登録商標です

Windgraphy®の詳細はこちら
<https://www.koaglobal.com/product/category/windgraphy>



トピックス

■ 海外拠点でも再生可能エネルギー拡大中

中国上海市の上海興亜電子元件有限公司では、2023年1月より工場で使用する電力をCO₂が発生しない風力発電由来の再生可能エネルギーに切り替えました。また4月より工場の屋根にソーラーパネルを設置し、創エネにも着手しました。パネル容量は105.6kWで、工場で使用する全電力の5%ほどをまかなう予定です。さらに、台湾の高雄興亜股份有限公司でも9月よりグリーン電力に切り替え、工場で使用する全電力の5%をまかっています。今後もKOAグループでは、2024年度目標である「電力の再生可能エネルギー比率70%」に向けて引き上げていきます。



上海興亜屋上のソーラーパネル

■ 一般社団法人 伊那谷財団 ～地域社会との共生～

企業経営だけでなく、地域貢献の面からも創業の精神が根付く伊那谷に寄与するため、1996年に伊那谷財団の前身となる伊那谷地域社会システム研究所を設立しました。ふるさとを愛し、様々な形で地域を支え、想いを馳せ続けることのできる人材を産学官が連携して育む「郷土愛プロジェクト」、水系の社会システムづくりの一翼を担う「リサイクルシステム研究会」などに対し、設立以来延べ238団体に約1億4千万円の助成を行っています。



信州 伊那谷を望む

■ コーポレート・ガバナンス強化の歩み

事業環境の変化に対応した経営の迅速な意思決定と経営の健全性・透明性・公正性を高めていくことが、継続的に企業価値を向上していく上で重要な課題であると考え、引き続きコーポレート・ガバナンスの充実を図っていきます。



※社外役員は東京証券取引所の定めに基づく独立役員です。

KOA統合報告書2023を発行いたしました。具体的な取り組みはこちらからご覧ください。

https://www.koaglobal.com/ir/library/integrated_report



会社概要・株式の状況 (2023年9月30日現在)

会社概要

社名	コー A株式会社 (KOA CORPORATION) 〒399-4697 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016番地 KOAパインパーク内アースウイング TEL：0265-70-7171（代表） （登記上の本店） 長野県伊那市荒井3672番地 1940年3月10日（昭和15年） 60億33百万円 各種電子部品の開発・製造・販売
創立	
資本金	
事業内容	

取締役及び監査役

取締役会長	むかいやま	孝一
代表取締役社長	花形	忠男
常務取締役	野々村	昭
取締役	百瀬	克彦
取締役	山岡	悦二
取締役	小嶋	敏博
取締役	向山	浩正
※取締役	マイケル・ジョン・コーバー	
※取締役	北川	徹
※取締役	高橋	晃次
※取締役	小澤	仁
※取締役	角	幸子
常勤監査役	五味	正志
常勤監査役	矢島	豪
※監査役	かみじつこ 上拾石	哲郎
※監査役	飯沼	好子

（注）※印の取締役及び監査役は社外役員です。

上場証券取引所

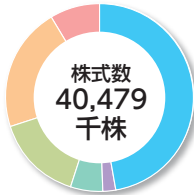
東京証券取引所 プライム市場
名古屋証券取引所 プレミア市場

株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	40,479,724 株
株主総数	11,130 名

株式の分布状況

【所有者別持株比率】



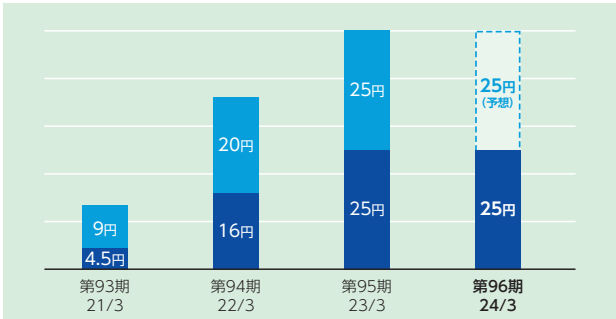
金融機関	47.34%
金融商品取引業者	2.32%
その他国内法人	5.41%
外国法人等	15.08%
個人・その他	21.49%
自己名義株式	8.36%

大株主の状況

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	6,818,600	18.39
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	3,211,300	8.66
日本生命保険相互会社	2,226,650	6.00
株式会社八十二銀行	1,832,400	4.94
野村信託銀行株式会社（投信口）	1,056,100	2.84
株式会社三菱UFJ銀行	1,000,000	2.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	700,000	1.88
株式会社小糸製作所	680,350	1.83
KOA共栄会	676,230	1.82
損害保険ジャパン株式会社	653,500	1.76

（注）1. 当社が保有する自己株式3,385,038株は含みません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

配当金の推移 ■ 中間配当 ■ 期末配当



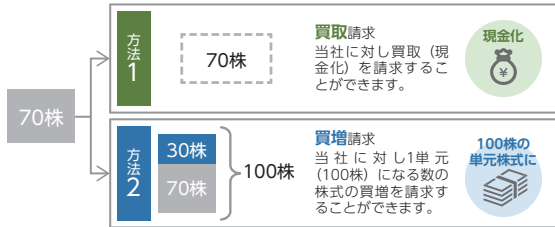
※年間IRカレンダーは
当社Webサイトにてご覧いただけます。
<https://www.koaglobal.com/ir/calendar>



単元未満株式をご所有する株主の皆様へ

単元未満株式とは、当社株式の売買単位である**1単元(100株)未満(1～99株)の株式**のことであり、市場で売買できないなどの制約があります。そのお取り扱いには、以下2つの方法がありますので、ご案内いたします。

<例>70株所有の株主様の場合



- ・特別口座（※）に記録されている単元未満株式の買取・買増の手續にかかる**手数料は無料**とさせていただきます。ぜひご利用ください。
- ・お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。

お手続きに関するお問い合わせ

- 特別口座（※）に記録されている株式については、特別口座の口座管理機関である、**三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部**
0120-232-711（フリーダイヤル）
へお問い合わせください。
 - 証券会社の口座に記録されている株式については、口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
- （※）株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社などの口座管理機関の口座にて電子的に管理されています。株券電子化移行時点で、ご所有の株式を証券保管振替機構（ほふり）に預託されなかった株主様につきましては、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」が開設されています。

IRのお問い合わせ先はこちらです

電話：0265-70-7171

FAX：0265-70-7711

KOA株式会社

経営管理イニシアティブ総務センター

ホームページ内「お問い合わせ」

<https://www.koaglobal.com/contact/irForm>



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL https://www.koaglobal.com ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	

（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記までお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

表紙の絵「雲」

雲海を見ると、万物が始まる壮大な物語を想像します。その圧倒的な量の世界の中では、人智の及ばぬ力が働き、奇跡が起ころうとしているに違いない、そんなふうに考えてしまいます。確かに、海や川や湖の水が水蒸気となって空へ向かい、こうして雲となって、雨や雪を地上にまたもたらすのは、水の循環という計り知れない物語の大切な一場面でしょう。



絵：今村由男
長野県生まれ
日本版画協会会員



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



www.koaglobal.com